

目 次

1	全国高等学校インテリア科教育研究会 会長挨拶	1
2	大会要項	2
3	大会日程	3
4	開会行事	4
5	全国高等学校インテリア科教育研究会 令和6年度総会	
(1)	議長団選出	5
(2)	令和5年度 事業報告	5
(3)	令和5年度 会計決算報告・監査報告	7
(4)	令和6年度 新役員・委員の推薦(案)	9
(5)	令和6年度 事業計画(案)	10
(6)	令和6年度 会計予算(案)	11
(7)	次期当番校(案)	12
(8)	輪番校について	13
	輪番表	13
6	会則	14
7	研究発表	
①	岩手県立水沢工業高等学校 教諭 細谷 正憲	16
②	長崎県立長崎工業高等学校 教諭 松尾 陽平	18
③	名古屋市立工芸高等学校 教諭 池田 征史	20
8	講演	
①	株式会社 ワコム 伊藤 宏哲 様	24
②	中央工学校 生川 清孝 様	28
9	閉会行事	31
10	参加者名簿	32
11	加盟校一覧	34
12	賛助会員紹介ページ	35



1 会長挨拶

全国高等学校インテリア科教育研究会会長
相浦 敦
(千葉県立市川工業高等学校長)

平素より、会員校の教職員の方々並びに賛助会員の皆様におかれましては、日本の産業教育、インテリア教育と併せて本研究会の充実・発展に御尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。また、第54回全国高等学校インテリア科教育研究大会の開催にあたり、会場を提供していただきました、東京都立工芸高等学校 杉浦文俊校長はじめ、同校インテリア科の教職員の方々に厚くお礼申し上げます。

さて、本研究会は、昭和39年3月に、全国高等学校工芸科教育研究会として発足し、昭和48年度に現在の名称に改称され、今年度で61年目を迎えます。発足当時、46校でスタートし、昭和59年には、52の会員校がありましたが、生徒数の減少や学科改編、統廃合もあり、現在21校となっております。そのような中、近年では大学において、建築・デザイン系の学部や学科が、女子大も含めて増えてきている現状があります。工業の専門高校で学ぶ魅力や意義などの情報発信をさまざまに行い、魅力あふれるインテリア系学科の生徒数増に繋げていきたいところです。そのためには、これまでの時代を担ってきたベテラン教職員の退職に伴う、木工技術をはじめとしたものづくり技術の伝承をいかに行なっていくかといった課題を解決していく必要があります。地域の技術者や会員校同士のネットワーク活用も必要不可欠なものと感じています。

このような課題もある中、ChatGPTをはじめとする生成AIが凄まじい勢いで進展し、テキストだけでなく、画像生成技術の進歩も目を見張るものがあります。このような状況の中、生成AIが苦手とする分野である、人が持っている創造力や発想力、アイデアといったものの重要性が増していると感じます。会員各校におかれては、日々の生徒に対する学びの支援の中で、柔軟な思考でユニークなアイデアを出し合い、議論することで新たなアイデアを生み出したり、そのアイデアを深めたりし、そして確かな技術力で作品へと具現化していくといった活動をされていることと思います。

今回、本冊子の表紙と裏表紙は、東京都立工芸高等学校と千葉県立市川工業高等学校の生徒作品となっております。そして、両校ともに各校において実施した、コンペ形式で選ばれた作品となっております。生徒の創造力やアイデアは素晴らしいものがあると感じられるとともに、その学びを支える教職員の教育活動の賜物であります。

また、今回の研究大会では、3校からの研究発表と株式会社ワコム伊藤宏哲様、中央工学校の生川清孝様、お二人からの講演を予定しています。特に、研究発表で取り上げられている課題は、3校とも違った内容となっておりますが、共に会員各校でも抱えている課題であるように思われます。質疑などをおして何かしらのヒントになることを期待しています。

結びに、本研究大会を通じて、会員各校及び教職員の皆様がますます発展されることを祈念し、御挨拶とさせていただきます。

2 大会要項

第54回全国高等学校インテリア科教育研究大会実施要項

- 1 大会名 第54回全国高等学校インテリア科教育研究大会
- 2 主 催 全国高等学校インテリア科教育研究会（略称：全イ研）
- 3 後 援 文部科学省
東京都教育委員会
東京都産業教育振興会
公益社団法人 全国工業高等学校長協会
- 4 期 日 令和 6年8月7日（水） 大会前日 第2回協議会（理事会）
令和 6年8月8日（木） 大会1日目 開会行事
講話・総会・講演・研究発表
ものコン審査（見学）
令和 6年8月9日（金） 大会2日目 大学見学
閉会行事
- 5 会 場 大会前日 8月 7日（水）
大会1日目 8月 8日（木）
東京都立工芸高等学校
〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-9
TEL 03-3814-8755 FAX 03-3812-4855
大会2日目 8月9日（金）
武蔵野美術大学
〒187-8505 東京都小平市小川町1-7-36
TEL 042-342-6021
- 6 目 的 高等学校インテリア科教育推進のため、全国のインテリア科及びこれに
準ずる学科・コース等の設置校関係職員が一堂に会し、インテリア科教
育の果す役割と携わる者としての専門性を向上させ、今後のインテリア
科教育の発展と充実を図る。
- 7 日 程 別紙大会日程による
- 8 参加者 全国高等学校インテリア科教育研究会加盟校の関係教職員、全国高等学校イン
テリア科教育研究会顧問・賛助会員・個人会員、文部科学省、東京都教育委員
会、東京都産業教育振興協会、全国工業高等学校長協会、東京都高等学校工業
部会、関係団体・企業・大学・専門学校 等 約50名
- 9 大会事務局 千葉県立市川工業高等学校 全イ研事務局長 伊藤 智大
〒272-0031 市川市平田3-10-10 TEL 047-378-4186
東京都立工芸高等学校 全国大会担当 竹野 秀治
〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-9 TEL 03-3814-8755

3 大会日程

教育研究大会

- 1日目 8月 8日(木) 東京都立工芸高等学校
- 10時00分 大会受付・諸会費納入
- 10時30分 開会行事(司会:千葉県立市川工業高等学校教頭)
- 開会の言葉(全イ研理事長)
- 会長挨拶(千葉県立市川工業高等学校校長)
- 歓迎の言葉(東京都立工芸高等学校校長)
- 来賓祝辞(東京都教育委員会)
- 来賓紹介(全イ研会長)
- 閉会の言葉(全イ研理事長)
- 11時00分 総会
- 議事
- 議長団選出
- (1) 令和5年度 事業報告
- (2) 令和5年度 会計決算報告・監査報告
- (3) 令和6年度 新役員・委員の推薦(案)
- (4) 令和6年度 事業計画(案)
- (5) 令和6年度 会計予算(案)
- (6) 次期当番校
- (7) 輪番校について
- 11時30分 東京都立工芸高等学校施設見学
- 12時00分 審査員による講評&交流会
- 12時30分 休憩
- 13時30分 研究発表 水沢工業、長崎工業、名古屋工芸(20分×3)
- 14時30分 質疑応答(10分間)
- 14時40分 休憩
- 14時50分 賛助会員講演①(30分)
- 15時20分 賛助会員講演②(30分)
- 15時50分 質疑応答(10分)
- 16時00分 事務連絡・散会
- 17時15分 教育懇談会受付・会費納入
- 17時30分 開宴
- 20時30分 閉宴

- 2日目 8月9日(金) バス(東京都立工芸高等学校→武蔵野美術大学→東京駅)
- 8時30分 東京都立工芸高等学校集合
- 10時00分 武蔵野美術大学見学
- 14時30分 東京駅到着
- 14時45分 ~16時30分 東京駅視察

4 開会行事

司 会 市川工業高等学校 教頭 山崎 泰浩

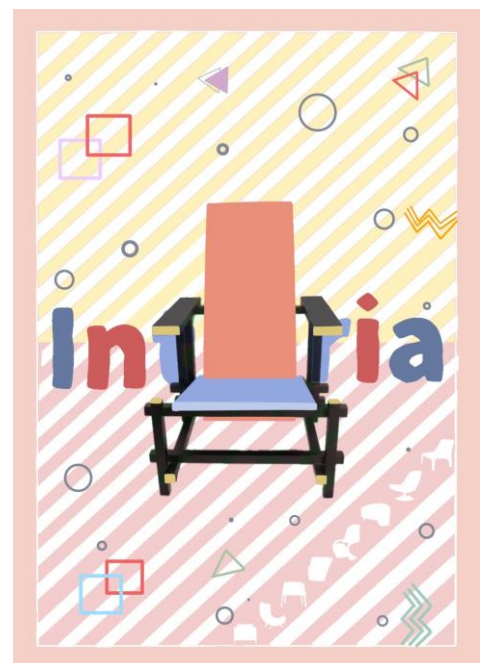
(1) 開式のことば 全国高等学校インテリア科教育研究会 理 事 長 伊藤 智大
(千葉県立市川工業高等学校 インテリア科)

(2) 会長あいさつ 全国高等学校インテリア科教育研究会 会 長 相浦 敦
(千葉県立市川工業高等学校 校長)

(3) 歓迎のことば 全国高等学校インテリア科教育研究会 副 会 長 杉浦 文俊
(東京都立工芸高等学校 校長)

(4) 来 賓 祝 辞 東京都教育庁指導部 主任指導主事 産業教育担当 山本 進一 様

(5) 閉式のことば 全国高等学校インテリア科教育研究会 理 事 長 伊藤 智大
(千葉県立市川工業高等学校 インテリア科)



6 総会 (11:00～11:30)

進行：千葉県立市川工業高校 教頭 山崎 泰浩

会則－運営内規 第 5 - 4

総会の成立は委任状も含め加盟校数の 5 分の 4 以上の出席を必要とする

議長団選出

会則－運営内規 第5 - 2 総会の議長は理事会で推薦し、総会開会時に承認を受ける。

議長：香川県立高松工芸高等学校 上島 昇二郎
鹿児島県立川内商工高等学校 栗田 大輔

議事 1 令和 5 年度 事業報告

(1) 協議会

第 1 回協議会 令和 5 年 5 月 1 9 日 (金) 場所：千葉県立市川工業高等学校

第 2 回協議会 令和 6 年 3 月 2 2 日 (金) 場所：千葉県立市川工業高等学校

(2) 全国高等学校インテリア科教育研究会

期 日： 令和 5 年 8 月 7 日 (月) 1 4 : 0 0 ～

8 月 8 日 (火) 1 0 : 0 0 ～

会 場：エル・ソーラ仙台 (1 日目)、アイリスオーヤマ株式会社 (2 日目)

当番校：宮城県工業高等学校

内 容：開会行事・講話・講演・企業研修・閉会行事

(3) 委員会・担当

①第 1 7 回高校生ものデザインコンテスト

主 催：全国高等学校インテリア科教育研究会

後 援：社団法人 全国工業高等学校長協会

協 賛：拓殖大学・千葉工業大学・日本工業大学・青山製図専門学校
専門学校ICSカレッジオブアーツ・専門学校山脇美術専門学校
TTC株式会社タケダ事業本部・JAFICA
日本フリーランスインテリアコーディネーター協会

参加資格：全国高等学校インテリア科教育研究会加盟校の生徒

課 題：クラフト部門 テーマ：自由

インテリアデザイン部門 テーマ：高校生の住まいを考える

表 彰：最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞

担 当 校：東京都立工芸高等学校

エントリー：7 月 1 4 日必着

募集期間：7 月 2 4 日～2 8 日必着

応 募 数：クラフト部門 6 1 点・インテリアデザイン部門 2 0 9 点

合計 2 7 0 点 (昨年 2 4 3 点)

②ホームページについて

「第 1 7 回高校生ものデザインコンテスト」の募集要項等をホームページに掲載。

(4) 優良生徒表彰

令和5年度加盟校関係学科卒業見込み生徒。全定各1名を表彰。

(5) 賛助会員および個人会員の募集

令和6年度 株式会社ワコム、株式会社アーティストリー加入予定

(6) 会員の表彰および顧問の推薦

なし

(7) 関係団体の催し

①令和6年度 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会

議事2 令和5年度 会計決算報告・監査報告

(1) 一般会計(決算報告)

①収入の部

(単位:円)

項 目	5年度予算	5年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,134,093	1,134,093	0	
2 学校会費	210,000	210,000	0	10,000円×21校
3 個人会費	4,000	4,000	0	2,000円×2名
4 賛助会費	210,000	230,000	20,000	10,000円×23口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	8	10	2	利子
合 計	1,638,101	1,658,103	20,002	

②支出の部

(単位:円)

項 目	5年度予算	5年度決算	比較増減	摘 要
1 事務費	35,000	15,363	△ 19,637	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	13,318	△ 6,682	郵送費、切手代等
3 会議費	3,000	2,831	△ 169	湯茶等
4 渉外費	30,000	30,550	550	JAFICA年会費(手数料)
5 事業費	950,000	488,373	△ 461,627	
① 教育研究大会費	0	0	0	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	450,000	178,120	△ 271,880	役員交通費
③ ホームページ運営費	10,000	2,424	△ 7,576	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	14,405	△ 15,595	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	154,611	△ 5,389	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	300,000	138,813	△ 161,187	地区教研費助成(手数料)
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	600,101	0	△ 600,101	
合 計	1,638,101	550,435	△ 1,087,666	

1,658,103(収入総額)－550,435(支出総額)＝1,107,668(差引残高)

差引残高1,107,668円は令和6年度に繰り越します。

(2) 特別会計

①収入の部

(単位:円)

項 目	5年度予算	5年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,282,787	1,282,787	0	
2 記念事業等積立金			0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	12	12	0	利子
合 計	1,282,799	1,282,799	0	

②支出の部

(単位:円)

項 目	5年度予算	5年度決算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,100,000	0	△ 1,100,000	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	100,000	0	△ 100,000	
3 予備費	82,799	0	△ 82,799	
合 計	1,282,799	0	△ 1,282,799	

1,282,799円(収入総額)－0円(支出総額)＝1,282,799円(差引残高)

差引残高1,282,799円は、令和6年度に繰り越します。

上記のとおり、令和5年度一般会計ならびに特別会計の決算について報告いたします。

令和6年 5月 24日

全国高等学校インテリア科教育研究会 会計 伊藤 智大

(3) 決算監査報告

令和5年度一般会計決算、特別会計決算を監査した結果、通帳および帳簿等の書類が適正に執行されていることを認めます。

令和6年 5月 24日
監 事 山鹿 幸宏

印略 (宮崎県立宮崎工業高等学校)

令和6年 5月 24日
監 事 松原 大祐

印略 (岐阜県立高山工業高等学校)

議事3 新役員・委員の推薦（案）

役 職	令 和 5 年 度		役 職	令 和 6 年 度	
	氏 名	学 校 名		氏 名	学 校 名
会 長	相浦 敦	千葉県立市川工業高等学校	会 長	相浦 敦	千葉県立市川工業高等学校
副 会 長	杉浦 文俊	東京都立工芸高等学校	副 会 長	杉浦 文俊	東京都立工芸高等学校
理 事 長	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校	理 事 長	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校
副理事長	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校	副理事長	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校
理 事	岡田 依子	大阪府立工芸高等学校	理 事	上島 昇二郎	香川県立高松工芸高等学校
	今福 清秀	鹿児島県立隼人工業高等学校		栗田 大輔	鹿児島県立川内商工高等学校
会 計	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校	会 計	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校
監 事	池田 征史	名古屋市立工芸高等学校	監 事	松原 大祐	岐阜県立高山工業高等学校
	尾家 信也	大分県立鶴崎工業高等学校		山鹿 幸宏	宮崎県立宮崎工業高等学校
HP担当	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校	HP担当	河村 司	千葉県立市川工業高等学校
ものコン担当	松本 和樹	東京都立工芸高等学校	ものコン担当	松本 和樹	東京都立工芸高等学校
教科目研担当	加藤 幸信	宮城県工業高等学校	教科目研担当	尾崎 由来	三重県立伊賀白鳳高等学校
全国大会担当	竹野 秀治	東京都立工芸高等学校	全国大会担当	竹野 秀治	東京都立工芸高等学校

- *「HP」とは、ホームページのこと。「ものコン」とは、高校生ものデザインコンテストのこと。
 *「教科目研」とは、教科目研究会のことで、大会の開催されない年度に行われる。（隔年開催）

その他

（１）顧問の選任について

※本人の承諾を確認した方のみを次年度以降の顧問とする。

- ・理事会の推薦により顧問を置くことができる。（会則第9条）
- ・理事会において推薦し、総会の承認を得る。（運営内規第4-3）

議事4 令和6年度 事業計画（案）

（1）協議会

第1回協議会 令和6年 5月24日（金）場所：千葉県立市川工業高等学校

第2回協議会 令和6年 8月 7日（水）場所：東京都立工芸高等学校

第3回協議会 令和7年 3月21日（金）場所：千葉県立市川工業高等学校

（2）第54回全国高等学校 インテリア科 教育研究大会（案）

期 日： 令和6年8月7日（水）第2回協議会（理事会）

8月8日（木）大会1日目

8月9日（金）大会2日目

会 場：東京都立工芸高等学校

当番校：千葉県立市川工業高等学校、東京都立工芸高等学校

内 容：開会行事・ものコン審査見学・大学見学等

（3）第18回高校生ものデザインコンテスト

エントリー：令和6年7月12日（金）必着

募集期間：令和6年7月22日（月）～26日（金）必着

*詳細はホームページにて掲載中

「JAPANTECH2024」（11月20日（水）～22日（金））全イ研ブース展示予定

（4）優良生徒表彰

12月に優良生徒調査

（5）賛助会員および個人会員の募集

継続して実施

（6）会員の表彰および顧問の推薦

継続して実施

（7）関係団体の催し

①令和6年度 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会

*詳細は全イ研ホームページ掲載中

②未来に続くインテリアコンテスト2024

主催：一般社団法人 日本フリーランスインテリアコーディネーター協会

*詳細は後日主催者から発信予定

議事5 令和6年度 会計予算（案）

（１）一般会計

①収入の部

（単位：円）

項 目	5年度予算	6年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,134,093	1,107,668	△ 26,425	
2 学校会費	210,000	210,000	0	10,000円×21校
3 個人会費	4,000	4,000	0	2,000円×2名
4 賛助会費	210,000	210,000	0	10,000円×21口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	8	5	△ 3	利子
合 計	1,638,101	1,611,673	△ 26,428	

②支出の部

（単位：円）

項 目	5年度予算	6年度予算	比較増減	摘 要
1 事務費	35,000	35,000	0	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	20,000	0	切手
3 会議費	3,000	3,000	0	湯茶等
4 渉外費	30,000	30,000	0	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	950,000	950,000	0	
① 教育研究大会費	0	300,000	300,000	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	450,000	450,000	0	役員交通費
③ ホームページ運営費	10,000	10,000	0	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	30,000	0	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	160,000	0	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	300,000	0	△ 300,000	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	600,101	573,673	△ 26,428	
合 計	1,638,101	1,611,673	△ 26,428	

(2) 特別会計

①収入の部

(単位:円)

項 目	5年度予算	6年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,282,787	1,282,799	12	
2 記念事業等積立金			0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	12	12	0	利子
合 計	1,282,789	1,282,811	22	

②支出の部

(単位:円)

項 目	5年度予算	6年度予算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,100,000	1,100,000	0	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	100,000	100,000	0	
3 予備費	82,799	82,811	12	
合 計	1,282,789	1,282,811	22	

議事6 次期当番校(案)

名 称: 第55回全国高等学校インテリア科教育研究大会

期 日: 月日未定

当番校: 大分県立鶴崎工業高等学校

議事 7 その他（輪番校について）

輪番表

令和5年4月22日

[illegible]

◎は事務局

★ は研究大会(総会)

○は理事

△は監事

◇は研究発表

◎◎◎◎は会長・理事長

☆は副会長・副理事

■はもののコン担当

★は教科目研究会担当

※加盟校の増減、各校の事情等により支障が出た場合は、その都度理事会で協議する。

※上記の理由で今後輪番表が変更されることもあるため、最新の輪番表により運用する。

覚え書き・研究大会と教科目研究会は隔年で開催する

・研究大会と教科目研究会、理事・監事・研究発表は加盟校で輪番で担当する

・閉校・閉科による退会で開催に支障が出る場合は基本的に前倒しとし、入会の場合も含めてその都度理事会で協議する

・事務局は理事会等の交通の利便性を考えて当面のあいだは市川工業・都立工芸名古屋市立工芸・大阪府立工芸で交代で担当する

・ものデザインコンテストは後援団体の交通の利便性を考えて当面の間は市川工業と都立工芸で担当する

7 会則

〔名 称〕

第1条 本会は全国高等学校インテリア科教育研究会と称する。

〔事 務 局〕

第2条 本会の事務局は会長の在任校に置く。

〔目 的〕

第3条 本会はインテリア科およびこれに準ずる学科(以下インテリア科と称する)を設置している全国の高等学校が、相互に密接な連携を保ち、インテリア科教育についての振興を図ることを目的とする。

〔事 業〕

第4条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. インテリア科教育に関する調査研究および発表。
2. インテリア科教育についての情報交換および連絡。
3. 関連産業界との連絡連携。
4. ホームページの作成と運営。
5. その他本会の目的達成に必要と認められた事項。

〔組 織〕

第5条 本会は、次の会員を以て組織する。

1. 正 会 員 ・インテリア科を設置する全国の高等学校の校長および関係職員。
・理事会の承認を得た個人。
2. 賛助会員 ・本会の趣旨に賛同する会社、大学、専門学校など理事会の承認を得たもの。

〔役員とその選出〕

第6条 本会に次の役員を置く。任期は原則2年とし、再任を妨げない。補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。

- | | | |
|----------|-----|-------------|
| 1. 会 長 | 1 名 | 理事長在任の校長 |
| 2. 副 会 長 | 1 名 | 教育研究大会当番校校長 |
| 3. 理 事 長 | 1 名 | 事務局理事 |
| 4. 副理事長 | 1 名 | 教育研究大会当番校理事 |
| 5. 理 事 | 若干名 | |
| 6. 監 事 | 2 名 | |

第7条 役員は正会員の中から理事会で選出し、総会の承認を得る。

〔役員の仕事〕

第8条 役員の仕事は次のとおりとする。

1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に支障のあるときは仕事を代行する。
3. 理事長は会務の運営ならびに企画原案を作成するとともに事務局長を兼務する。
4. 副理事長は理事長を補佐するとともに教育研究大会の企画運営にあたる。
5. 理事は会務を分掌し、事業計画、予算、決算等重要事項を審議する。また、各委員会の委員長を兼務する。
6. 監事は会計を監査する。

〔顧問〕

第9条 理事会の推薦により顧問を置くことができる。

〔会議〕

第10条 会議は次のとおりとする。

1. 総 会・・・2年に1回開催し、会務ならびに会計決算報告、役員の改選、会則の改廃等をなす。ただし必要に応じて臨時総会を開くことができる。
また、総会が開催されない年度の重要議案は書面表決等をもって理事会に委ねる。
2. 理 事 会・・・必要に応じて会長が召集し、召集時には協議会の名称を使用する。
3. 委 員 会・・・必要に応じて会長が召集する。
4. 地区教研・・・必要に応じて会長が召集する。

第11条 会議の成立、議決方法は別に定める。

〔会計〕

第12条 本会の経費は会費、補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。
学校会費は年額10,000円とし、年度始めに納めるものとする。

第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

〔表彰〕

第14条 本会の教育活動振興および発展に貢献し、推奨するに足ると認められる会員・生徒・個人を表彰する。

第15条 表彰の基準は次の各号に該当するものとする。

1. 会員ならびに個人の表彰について
 - (1) 本会の教育の向上に特に貢献した者。
 - (2) その他本会が表彰することを適当であると認める者。
 - (3) 表彰者の推薦は理事会で行い会長がこれを決定する。
2. 生徒の表彰について
 - (1) 関係学科の卒業見込み者で学校長の推薦があった者。(各校全定それぞれ1名)

〔附 則〕

第16条 本会則は昭和58年4月1日から実施する。

第17条 本会則は会員校数の3分の2以上の賛成をもって改廃することができる。ただし欠席会員校は委任状をもってこれに代えることができる。

第18条 本会の運営規定は内規として別に定める。

最終改正 平成21年7月23日

8 研究発表①

第54回全国インテリア科教育研究大会研究発表 「近隣の工業高校との統合を控えた本校の現状と課題」

岩手県立水沢工業高等学校
インテリア科 教諭 細谷正憲

1 はじめに

本校は1968年（昭和43年）に岩手県内陸南部の水沢市（現奥州市）に地元の期待に
応えて創立し、2024年で57年目を迎えた。創立当初は機械科2クラス、電気科1クラ
ス、工芸科1クラスで発足したが、現在は機械科、電気科、設備システム科、インテリア科
各1クラスの構成で、全校生徒378名の県内では中規模の工業高校である。

2 インテリア科の現状

現在の在籍数は、1年生31名（女子13名）、2年生40名（女子15名）、3年生17
名（女子6名）の88名（女子34名）である。教職員数は教諭5名実習教諭2名の7名で
ある。

募集定員数は40名なので、2年前の入学性は大幅に定員割れしたが、昨年は定員を満
し、今年度は9名の定員割れと、近年はずっと定員割れの状況である。

教職員の内訳はデザイン・インテリア系が1名で、6名は建築が専門である。これに伴い
製図の内容は、ほとんどが建築製図に切り替わった。

3 特色

2011年4月から「ドリーム・プロジェクト（生徒の夢を叶える計画）」として全校で
朝学習が開始され、新入生全員が「第2種電気工事」の取得に向けて取り組んだ。

今年度で14年目を迎え、地域の中学校や保護者からは「朝学習の水工」としての認識が
定着した。4学科がそれぞれに必要な資格取得に向けた朝学習に切り替わり、インテリア科
では、1年生で色彩検定3級を全員で取り組み、2年生では建築CAD検定をはじめとする、
個人の進路に関係する資格取得を、3年生では全員で2級建築施工管理技士の学科試験に
向けて取り組んでいる。特にも建築CAD検定は1年後半から個人が取り組み3年生では、
準1級に挑戦して2年連続で合格者が出ている。

4 今後について

県の後期編成計画によって水沢工業高校と一関工業高校が統合することが決定し、20
25年までに建設予定地を決める流れになっている。

新しい工業高校は、県内陸部の最も南に位置し、機械系・電気系・設備系・土木系・建築
系そして半導体関連学科の6学科程度の規模になる予定である。インテリア科は岩手県内
唯一の学科として存続される予定である。しかし、教員採用試験の志願倍率と新採用教員数
は年々下がり続けており、インテリア科は3年前に合格者があったが民間企業へ就職され

てしまった。その後は若い教諭の新規採用がない。不足する教員を定年退職教員の再任用で対応しているのだが、せっかくインテリア科が残っても教員が不足する心配は払拭しきれないのが現状であり、大きな課題でもある。

○ 3年生の家具作品（一部）



○工業技術基礎 鉋刃の砥ぎ実習



○工業技術基礎 引き出しの製作



○課題研究 企業との協働開発



8 研究発表②

長崎県立長崎工業高等学校インテリア科

インテリア科のDX教育推進と society5.0 人材育成に向けて

～3D空間撮影機材の導入と活用～

長崎県立長崎工業高等学校
インテリア科 教諭 松尾陽平

1 はじめに

令和4年度で第28回を迎えたインテリア科展(生徒の作品展)。来場者は毎年約500名ほど。都合が合わず現地まで足を運べないという声が多く、どうにかならないものかと考えていた。

そんなところ、令和4年度先端企業教員研修でお世話になった「(株)コミュニティメディア」の協力でデジタル化が実現した。デジタル化したことで、これまでを遥かに超える方々に気軽にインテリア科展を体験していただくことができた。

今後は生徒と教員でデジタル化を実現し、新しい教育活動を展開していきたいという考えを本校同窓生に賛同していただき、令和5年度に機材を導入し、様々なことに活用した。



ぜひ体験してみてください!
デジタルインテリア科展
<https://choko-alumni.com/2023exhibition/>

2 導入機材

360°の撮影が可能で3D空間モデルが作成できる「MatterportPro2」を導入(R5.6月)。これによりインテリア科の学びにデジタルツインやメタバースなどのデジタルな取組みが可能に。



撮影結果をクラウドにアップロードしてモデル完成。

3D・平面図・ドールハウス表示
と寸法計測が可能

○撮影準備

1. 3Dカメラを三脚に固定。
2. iPadと3Dカメラをwifi接続。

○研修の様子



知識や活用方法を知る



機材の使用方法を学ぶ



データの編集作業を知る

3 機材活用

「MatterportPro2」を活用し、3D空間DX化を体験。デジタル化・IoTが身近になり、探究へのモチベーションアップへとつながった。



1. 撮影機材の講習（生徒向け）

3D撮影機材について座学と実技の講習を実施し、今後の撮影のための準備を行った。



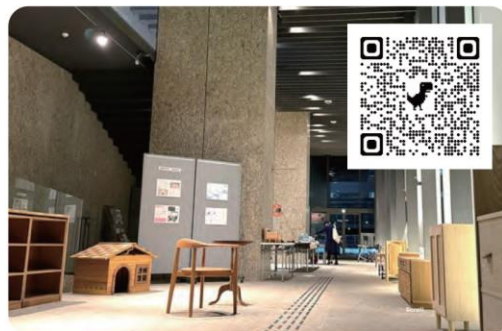
2. オープンスクール

最終目標のインテリア科展でうまく撮影できるように、まずはオープンスクールの全場で練習と反省。



3. R5 年度九州工業教育研究会で発表

九州内のインテリア科教員の前でデモンストレーションを行い、先端技術の共有。



4. デジタルインテリア科展 2024

計画から撮影まで全ての工程を生徒と教員のかで行い、インテリア科展のデジタルコンテンツ化が実現。

4 今後の展望

「MatterportPro2」を用いて、インテリア科の学びにDXを取り入れ、society5.0人材の育成へ。

○VR機能で、よりリアルな体験を

3D撮影したモデルに作品情報や動画をのせて携帯電話やパソコンで閲覧が可能。これにVRゴーグルを用いて、さらに没入感のあるコンテンツへ発展。

○実習内容の見直し

インテリア科の実習内容に3D撮影やモデリングの内容を組み込み、デジタルツインやメタバースに触れることでsociety5.0に対応し、広い視野をもった生徒の育成へ。

○モデルを活用して様々な体験を

3Dモデルをもとにシミュレーションツールを作成し、学習の助けにする。室内の壁などを自分好みに設定して、どのような仕上がりになるのかイメージを確認し、色彩の学びへ。

○日々学び続けることを忘れない

進化し続ける技術に触れる機会をもち、知識や技術の情報を生徒や教員同士で共有する。そのためには企業と積極的に関わり、アンテナをはっておく必要がある。

8 研究発表③

新カリキュラムにおけるルーブリックを用いた評価（製図）の考察

名古屋市立工芸高等学校
インテリア科 池田 征史

1. はじめに

新カリキュラムに入り3年目の本年度、全学年で観点別評価に切り替わっています。観点別に評価を行い、A, B, Cの3段階で生徒へ評価を返す際に説明ができること、併せて、教員ごとに大きく違った評価にならないことが求められています。それらの評価を明確化する手段として、ルーブリックの活用を行い、評価が適切に行えているか考察する。

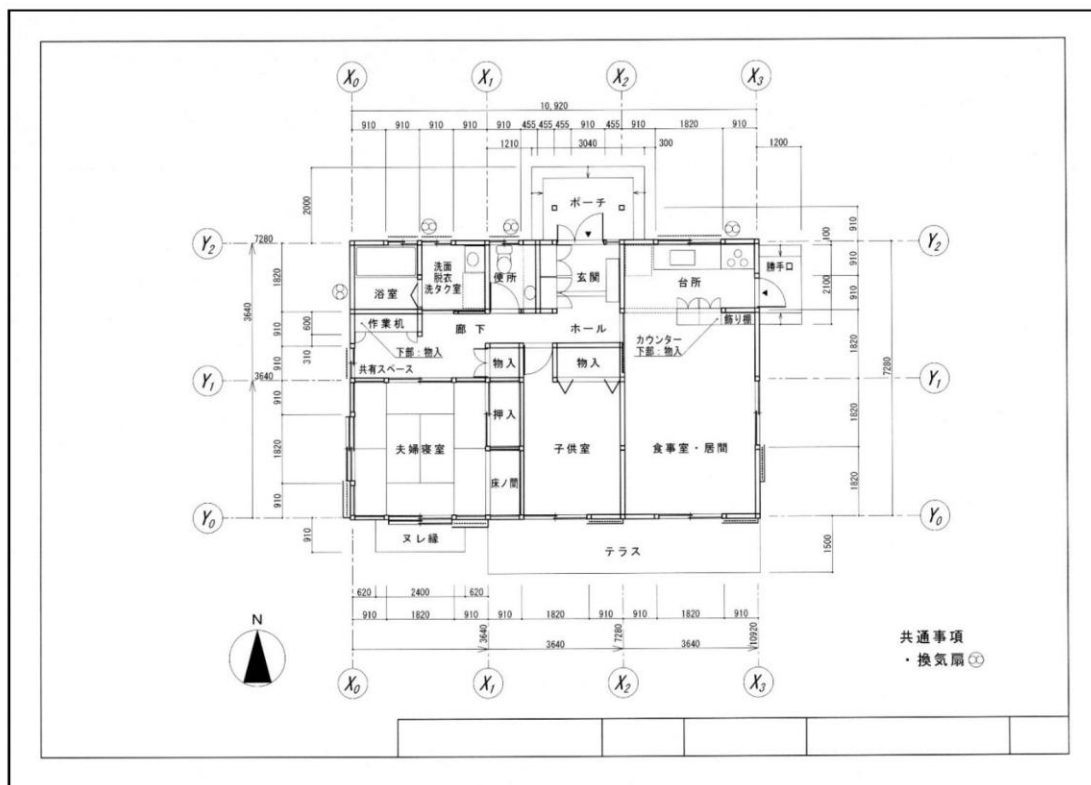
2. 研究のねらい

ルーブリックを用いた評価を取り入れ、以下の考察を行い、より適切な評価に繋げる。

- ・生徒用に評価基準を提示し、評価をどの程度意識して課題に取り組むのか確認する。
- ・ルーブリックを作成し、誰でも同様の基準で評価ができるように活用する。
- ・従来の方法と、ルーブリックを用いた場合の評価方法で、差異がどの程度生まれるか確認する。
- ・生徒の自己評価と、教員評価の差異がどの程度生まれるか確認する。
- ・差異の有無や程度によって、より適当な評価が行えるようにルーブリックを見直す。

3. 課題概要

- ・対象生徒は、インテリア科3年生41名の【製図】(2単位)
- ・本校カリキュラム15h～20hで取り組む内容
- ・木造平屋建専用住宅の模写



4. 評価方法について

【従来の評価方法】

①課題作品の出来（ウェイト 7 割）

- ・ 図面の全体像の美しさ（図面が黒ずんだりしていないか）
- ・ 線の太さによる表現が適切か
- ・ 文字の大きさ、バランス、形は適切か
- ・ 寸法表現は適切か
- ・ 全体で不足個所は無い、ある場合は何か所不足しているか 等

②作業中の態度や計画性（ウェイト 3 割）

- ・ 授業中に不要な他事をしていないか
- ・ 図面の表現方法等の不明個所をそのままにせず解消しているか
- ・ 提出期限を意識して取り組んでいるか（遅い場合に居残りの申請ができるか）
- ・ いつ提出できたか、追加で課題に取り組めるか 等

以上の評価方法を、ルーブリック作成の参考にして、以下の表を作成した。

【新しい評価方法】（暫定版）

課題チェック表

4	課題提出後、追加課題を提出することができた	課題提出後、追加課題に取り組むことができた	太線の太さを一定で描くことができた	細線の太さを一定で描くことができた		提出後にチェックを受け、不足個所が3か所以内で、その後完全提出ができた
3	図面を書くための時間をつくり、計画的に進め、提出日より早く提出することができた	授業時間内に不要な他事をせず、真摯に課題に取り組むことができた	太線で表現すべきところを全て描き入れることができた	細線で表現すべきところを全て描き入れることができた	室名や寸法の数字を忘れずにバランス良く記入することができた	提出後にチェックを受け、不足個所が6か所以内で、その後完全提出ができた
2	提出日を守ることができた	授業開始前にドラフター定規の角度を確認することができた	太線で描く箇所を確認することができた	細線で描く箇所を確認することができた	室名や寸法の数字を忘れずに記入することができた	完成図面を提出することができた
1	図面を描くのに計画的にすすめることができた	製図道具を忘れずに持ってくることができた	太線と細線の違いを確認できた	太線と細線の違いを確認できた	製図用文字・数字の表現について確認ができた	完成図面に至るまで、見本と何度も見比べることができた
0	提出日を意識できた	判断材料なし	判断材料なし	判断材料なし	判断材料なし	判断材料なし
	図面の計画性	取り組み姿勢	製図の表現①	製図の表現②	製図の表現③	図面の提出

5. 今後の流れ

- ・今回の製図課題を【従来の評価方法】と【新しい評価方法】の2通りの方法で評価を行う。
- ・生徒に自己評価をつけてもらい、提出させる。
- ・教員評価と生徒評価の差異を確認する。
- ・差異が確認できたら、該当の評価項目を是正する。
- ・次の課題で是正された評価項目を用いて評価を行う。

以上を繰り返すことでより良い評価を行えるようにすすめていく。

6. 研究成果

今回の考察内容は夏の大会で発表させていただきたいと思います。

【追加資料】を予定しています。

7. まとめ

今回のルーブリック作成については他校の先生にもご指導・アドバイスをいただくなど、多くのご助言をいただきました。観点別評価に入り3年目を迎え、まだまだ適切な評価ができていないという実感を持ったままでの昨今、早急に課題解決に踏み切らないといけないと感じていました。研究発表の機会をいただき、自分自身で早急に取り組まなければいけない課題を模索した際に、真っ先に思い浮かんだのが、先延ばしにしていた【ルーブリック】の作成です。評価方法にまだまだ未完成な部分が多く、評価項目の是正が必要です。こういった全国大会という機会を逃すことなく、既に取り組まれている学校でアドバイス等いただけたら幸いです。こうした取り組みを全国的に共有出来たら、若手の育成とインテリア科教育の発展に繋がると考えています。生徒が、インテリア科で学び、実践し、卒業して良かったと実感してもらえるように、今後とも努めていきたいです



Memo

9 講演

講演 ①

「Wacom からのご案内」


株式会社 ワコム フィールドコミュニケーションサービス 伊藤 宏哲 様

Wacomからのご案内

2024/08/08

株式会社ワコム
フィールドコミュニケーションサービス
伊藤宏哲

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.




1

ワコムから4つのご案内

- ワコム製品の使い方説明会。
- 出前授業にてPhotoshop講座を実施。
- 店頭用デモ機再利用プログラム。
- WCCCの加盟校募集。

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.



2

ワコム製品の使い方説明会

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

3

ワコム製品の使い方説明会

パソコン教室やクラブ活動等で
ワコムのペンタブ、液晶タブを
ご導入いただいた学校さまには
無料で製品の使用説明会を
実施しております。



Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

4

4

出前授業にてPhotoshop講座を実施

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

5

5

出前授業にてPhotoshop講座を実施



Adobe CCとペンタブレットを導入したが
授業でどのように使用したらよいかとの
相談をいただき出前授業はスタートしました。
生徒さん（先生も）を対象にしたPhotoshop講座
（似顔絵）を無償で実施。
ペンタブとCG系ソフトの相性の良さと楽しさを
確認していただく事と常時ペンタブ・液タブを
使用いただく事を目的としています。

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

6

6

作業行程



元画像



線画



色付け

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

7

7

出前授業の様子

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacoin Co., Ltd.

8

8

千葉県立市川工業高等学校インテリア科 2023/11/28(火) am,pm



Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacoin Co., Ltd.

9

9

東京都立工芸高等学校インテリア科 2024/1/18(木)、2/7(水)



Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacoin Co., Ltd.

10

10

宮城県工業高等学校インテリア科 2024/3/19(火)



Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacoin Co., Ltd.

11

11

出前授業 X (旧Twitter)



Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

12

12

店頭用デモ機再利用プログラム

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

13

13

店頭用デモ機再利用プログラム

製品の切替りため店頭で使用されなくなった
店頭展示機器を学校の授業やクラブ活動で
ご使用いただくプログラムです。

長期貸出という形ではありますが、とくに返却期限を
設けていません。

返却は必要がなくなり、故障したケースとなります。

再利用プログラムをご利用の際はご担当者の
サインが必要です。



Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

14

14

最後にWCCCのご案内

Confidential. All Rights Reserved. Copyright © 2024 Wacom Co., Ltd.

15

15

中央工学校における実務教育

地域密着型実践教育 ～北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト～

中央工学校 工業第一教員室
室長 生川 清孝

1. はじめに

地域密着型実践教育の取り組みは、平成 16 年から実施され、今年度で 21 年目を迎える。本授業は実案件を題材とした実務教育により、設計業務における一連の流れを学び、併せてグループワークによるコミュニケーション能力の向上を目的としている。東京都北区を中心に様々な商店街と連携し、各店舗のリニューアルプランを提案する授業である。

昨今はコロナ禍の影響により、施主との対面による連携が困難な状況となり、遠隔での取り組みが余儀なくされた中、北海道十勝清水町の協力により実現した授業が、「北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト」である。

2. 過年度の取り組み

商店街の組合と連携し、各店舗の協力により実施している。店舗(物販・飲食)を対象とした「ショップデザイン」の授業を対象としており、基本計画の立案を目的に現地調査や施主との打ち合わせを行い、現状の問題点や今後の展望を模索する。



写真1 店舗調査



写真2 グループワーク

建設当初の設計資料が整わない店舗が多いため、実測作業から店舗内の什器レイアウトの確認を行い、設計に必要な情報をまとめる。スケールで採寸する学生、メモを取る学生と役割分担を行い、実務同様に作業を体験する。調査で得た情報をもとにグループワークを行い、プランを具現化する。学生らしい柔軟なアイデアや発想力が重要なため、多角的な検討が必要とな

る。

複数名でのグループワークは個人課題と異なり、意見の相違がある中での協力が必要になるため、コミュニケーション能力が重要となる。特に実案件による施主への提案が求められるため、妥協した作業が許されない状況である。グループでの議論を積み重ねることにより、充実した成果作品を期待している。



写真3 施主プレゼンテーション



写真4 学内プレゼンテーション

最終的に現地において施主へのプレゼンテーションが実施される。施主への報告は学内での発表会とは大きく異なり、緊張感のあるプレゼンテーションである。実務に則した一連の経験を通じて、社会人としての心構えが養われることを期待している。

3. 実績

過年度の取り組みの一つである「旧豊島北中学校コンバージョン計画」では、実際に学生の提案が採用され、実現運用がされている。東京都北区の取り組みとして、北区文化振興財団が推進する整備事業のひとつに、閉校した中学校の利活用計画があり、その施設内にあるカフェスペースのデザイン提案を行った。現在も「東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ」という名称で継続利用されている。



写真5 学生提案



写真6 竣工写真

4. 北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト

(1) 経緯

東京都北区と北海道十勝清水町は、「渋沢栄一」にゆかりのある地域である。近年の観光振興を促す様々な活動を通じて、令和4年度から本校との産学連携事業として「北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト」が実現した。

これまでの授業では、近郊の商店街や個人店舗での取り組みが中心であったが、昨今のコロナ禍の影響により、遠隔による Zoom を活用した新しい展開での実施となった。実店舗への訪問が難しい中、施主と Zoom を通じて打ち合わせをすることで、対面さながらの緊張感の中、授業が展開されている。清水町長や清水町役場商工観光課など、各担当者の協力により従前と同様の成果が見受けられた。実務においても遠隔が活用される状況であり、将来の就業に向けて貴重な経験をすることができた。



写真7 清水町概要説明



写真8 施主打ち合わせ

(2) 実施概要

2 年目となる令和5年度は2店舗(飲食店・事務所)と連携し、各店舗3グループの合計6班に分かれ、リニューアルプランを提案している。

ア. 連携店舗

建設業事務所 (A 株式会社)

飲食店 (B 店舗)

イ. 対象学生

建築室内設計科2年 32名

ウ. 日程

令和5年5月17日 店舗概要説明・調査

7月26日 作品提出

8月30日 公開プレゼンテーション

(3) 実施内容

ア. 建設業事務所 (A 株式会社)

地場産業として総合建設業を営む企業である。事務所の情報管理や接客に伴う空間提案を期待されている。1・2階の2層空間の利活用として新しい提案が要望された。

イ. 飲食店 (B 店舗)

地域に根付いた寿司店であり、地域住民を中心に多くの利用者と賑わっている店舗である。特に若年層の利用促進を期待されており、学生の斬新なアイデアが求められた。設備計画や顧客動線など、多角的な検討が必要な案件であった。



写真9 学生作品①



写真10 学生作品②

5. おわりに

令和4年度の取り組みで3店舗(物販店)のリニューアル提案がされ、その中の一店舗において学生提案による、一部リニューアル計画が実現している。また、令和5年度の提案についても実現に向けて継続検討されている。



写真11 学生作品③



写真12 学生作品④

この授業の目的として、グループで一つのものをつくり上げる大変さや達成感を学生中に経験することが重要と考えている。施主との対面での打ち合わせだけではなく、Zoom を利用したコミュニケーションを取り入れることにより、実社会での業務の流れに沿った授業展開ができたことは、社会人として活躍して行く学生にとって、自身の働く姿が少なからず想像が出来たのではないかと考えている。この授業で得た経験を活かし、将来の活躍を大いに期待している。

(キーワード) 地域密着型実践教育

北海道 十勝清水町 リニューアル計画

東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ

Memo



1 0 閉会行事

司 会 千葉県立市川工業高等学校 教頭 山崎 康浩

(1) 開会のことば 全国高等学校インテリア科教育研究会 理 事 長 伊藤 智大
(千葉県立市川工業高等学校 インテリア科)

(2) 会長あいさつ 全国高等学校インテリア科教育研究会 会 長 相浦 敦
(千葉県立市川工業高等学校 校長)

(3) 閉会のことば 全国高等学校インテリア科教育研究会 理 事 長 伊藤 智大
(千葉県立市川工業高等学校 インテリア科)

(4) 大 会 終 了



National High School Interior Education Study Group

1 1 参加者名簿

第54回全国高等学校インテリア科 教育研究大会 参加者一覧表

NO	所属	氏名	8/7（水）	8/8（木）				8/9（金）
			第 2 回 協 議 会	大会1日目				大会2日目
				総 会	昼 食	午 後 日 程	教 育 懇 談 会	
来賓								
1	東京都教育庁指導部 主任指導主事	山本 進一						
賛助会員								
2	有限会社 秋山木工	秋山 利輝					5000	
3	ものづくり大学名誉学長	赤松 明		7000		○	5000	
4	TTC株式会社	市毛 大		7000	1000	○	5000	○
5	株式会社 ワコム	伊藤 宏哲		7000		○	5000	
6	中央工学校	生川 清孝		7000	1000	○	5000	○
加盟校								
7	岩手県立水沢工業高等学校	細谷 正憲		7000	1000	○	5000	
8	宮城県工業高等学校	加藤 幸信		7000	1000	○	5000	○
9	千葉県立市川工業高等学校	相浦 敦	○	7000		○	5000	○
10		金子 裕行				○	5000	○
11		伊藤 智大	○	7000		○	5000	○
12		鈴木 宏太				○	5000	○
13		向山 泉美				○	5000	○
14		平山 康一郎				○	5000	○
15		河村 司				○	5000	○
16		谷川 恵理				○	5000	○
17		原田 笑実				○	5000	○
18	東京都都立工芸高等学校 全日制	斎藤 俊博	○	7000		○	5000	○
19		竹野 秀治	○			○	5000	○
20		森田 聡					5000	○
21		松本 和樹	○				5000	○
22		林田 千鶴						
23		矢部 孝						

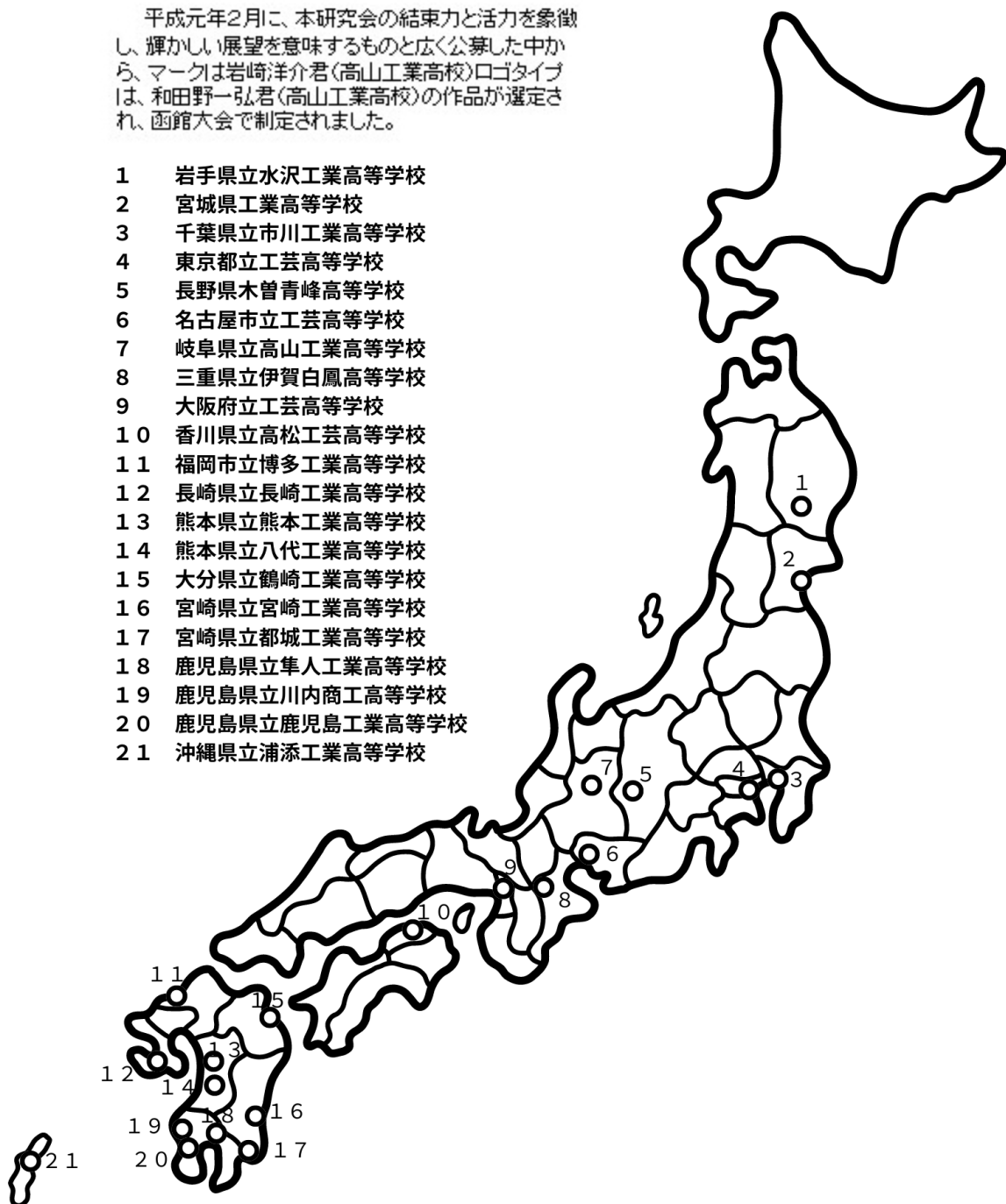
24	東京都立工芸高等学校 定時制	片山 路仁		○		○	○	○
25		關戸 亮						○
26		前田 康弘					○	○
27		伊藤 聖樹					○	○
28		平野 恵麻						○
29		富田 眞理子						○
30	長野県木曽青峰高等学校	古畑 良一		○	○	○	○	○
31	名古屋市立工芸高等学校	池田 征史		○	○	○	○	○
32		小笠原 彩乃		○	○	○		○
33	岐阜県立高山工業高等学校	松原 大祐	○	○	○	○	○	○
34	三重県立伊賀白鳳高等学校	尾崎 由来	○	○	○	○	○	○
35		中山 啓介		○	○	○	○	○
36	大阪府立工芸高等学校	岡田 依子		○	○	○	○	○
37	香川県立高松工芸高等学校	上島 昇二郎	○	○	○	○	○	○
38		中井 優太		○	○	○	○	○
39	福岡市立博多工業高等学校	松崎 香代		○	○	○	○	○
40	長崎県立長崎工業高等学校	松尾 陽平		○	○	○	○	○
41	熊本県立熊本工業高等学校	高宮 誠		○	○	○	○	○
42	大分県立鶴崎工業高等学校	尾家 信也		○	○	○	○	○
43		佐藤 大作		○	○	○	○	○
44	宮崎県立宮崎工業高等学校	山鹿 幸宏	○	○	○	○		○
45	鹿児島県立隼人工業高等学校	今福 清秀		○	○	○	○	○
46	鹿児島県立川内商工高等学校	栗田 大輔	○	○	○	○	○	○
47		高階 翔紀		○	○	○	○	○
48	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	堀之内 公郎		○	○	○		○

1 2 加盟校一覧



平成元年2月に、本研究会の結束力と活力を象徴し、輝かしい展望を意味するものと広く公募した中から、マークは岩崎洋介君(高山工業高校)ロゴタイプは、和田野一弘君(高山工業高校)の作品が選定され、函館大会で制定されました。

- 1 岩手県立水沢工業高等学校
- 2 宮城県工業高等学校
- 3 千葉県立市川工業高等学校
- 4 東京都立工芸高等学校
- 5 長野県木曾青峰高等学校
- 6 名古屋市立工芸高等学校
- 7 岐阜県立高山工業高等学校
- 8 三重県立伊賀白鳳高等学校
- 9 大阪府立工芸高等学校
- 10 香川県立高松工芸高等学校
- 11 福岡市立博多工業高等学校
- 12 長崎県立長崎工業高等学校
- 13 熊本県立熊本工業高等学校
- 14 熊本県立八代工業高等学校
- 15 大分県立鶴崎工業高等学校
- 16 宮崎県立宮崎工業高等学校
- 17 宮崎県立都城工業高等学校
- 18 鹿児島県立隼人工業高等学校
- 19 鹿児島県立川内商工高等学校
- 20 鹿児島県立鹿児島工業高等学校
- 21 沖縄県立浦添工業高等学校



1 3 賛助会員紹介ページ

私たちは、
住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門や、
出前授業等の事業活動を広く展開しています。



【主な事業活動】

- ・ インテリアコーディネーター等を目指す者への教育、情報提供事業
 - ・ インテリアコーディネーター等の認定試験事業
 - ・ インテリアコーディネーター等の登録事業
- ・ インテリアコーディネーター等が実施する調査・研究に対する支援事業
 - ・ インテリアコーディネーター等を目指す者へのコンテスト開催事業
- ・ 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

公益社団法人インテリア産業協会 東京都新宿区新宿3-2-1 京王新宿321ビル8階
TEL:03-5379-8600 FAX:03-5379-8605 URL: <https://www.interior.or.jp/>



国際理工は、頑張る高校生を応援します！

- ITスペシャリスト科 (4年制)
- Web・CG デザイン科 (2年制)
- 高度情報処理科 (3年制)
- ゲームクリエイター科 (3年制)
- 情報システム科 (2年制)
- 建築設計科 (2年制)



2023年4月 スポーツ施設
KRCドーム誕生！

IT、ゲーム、デザイン、建築・インテリアの総合専門学校



専門
学校

国際理工カレッジ

〒263-0025 千葉県稲毛区穴川町386

・ JR稲毛駅より徒歩15分

・ 千葉モノレール穴川駅から徒歩4分

オープンキャンパス
予約はこちらから！



東海工業専門学校金山校

TOKOSEN

在学中に
二級建築士

4433

名合格

※42年連続
の実績

在学中に
一級建築士

学科 **8** 名合格

製図 **3** 名合格






OPENCAMPUS 実施中！ オープンキャンパスでキミの未来を感じよう！



建築設計コース



建築模型コース



インテリア設計コース

詳細・参加申込みは、
本校WEBサイトへ！
<https://www.tpc.ac.jp/>





飛騨で作られるモダン家具

1946年創業の日進木工は岐阜県・飛騨高山の自社工場にて、木材管理・加工・仕上げまで徹底した管理のもと生産し、安心・安全な木製家具を全国にお届けしています。



日進木工株式会社

高山本社 タカヤマギャラリー
岐阜県高山市桐生町7-78
TEL 0577-34-1122 FAX 0577-34-7311

トウキョウギャラリー
東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター1F
TEL 03-3448-8771 FAX 03-3448-8772



超! 体験 **ここでしか学べない圧倒的な体験型実習**

オープンキャンパス+体験入学開催中! デザイン科

クリエイターズカレッジ デザインカレッジ ミュージックカレッジ ITカレッジ テクノロジーカレッジ スポーツ・医療カレッジ

▶グラフィックデザイン専攻 ▶イラストレーション専攻
▶インテリアデザイン専攻 ▶プロダクトデザイン専攻

8th **日本工学院** 若きつくりびとへ。 **日本工学院専門学校** ☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
日本工学院八王子専門学校 ☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
www.neec.ac.jp @nihonkogakuin @neec_official @nihonkogakuin 併設校: 東京工科大学 姉妹校: 日本工学院北海道専門学校

INTERIOR PLANNER

あなたもインテリア設計のプロフェッショナルへの第一歩として挑戦してみませんか! 次年度の受験申し込みは3月中旬予定です。

インテリアプランナーは、高品質で魅力的なインテリア空間をトータルに実現できる設計能力を持った資格者であり、インテリア設計等に関し、建築士の業務と共通部分を持ちつつ、専門的・高度な、または独自の知識・技能を有する者として、その能力を審査・証明されたプロフェッショナルです。

学科試験は、**年齢制限はなく、誰でも受験できます。**
学科試験の出題数: **50問**(試験時間2時間30分)
学科試験に合格し、登録を受けることにより**アソシエイトインテリアプランナー**の称号が付与されます。

公益財団法人 建築技術教育普及センター
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6
TEL 050-3033-3825
<https://www.jaeic.or.jp/>



中央工学校

建築・木造・設備・インテリア・土木・測量・機械・3DCAD

建築室内設計科 2年制

建築からインテリアまで、幅広い分野を総合的に捉えた実践指導で空間デザインのスペシャリストを目指す

インテリアデザイン科 3年制

空間や雑貨など、あらゆる生活空間をデザインする充実の3年間

《 建築室内・インテリア・建築・木造・設備 設置学科 》

■ 建築学科 (4年)	■ 建築設備設計科 (2年)
■ 建築工学科 (3年)	■ 建築室内設計科 (2年)
■ 建築設計科 (2年)	■ インテリアデザイン科 (3年)
■ 木造建築科 (2年)	■ 夜間 建築科 (2年)



最新情報はこちら

【建築関連キャンパニュース】
授業の様子をご覧いただけます。



【LINE公式アカウント】

友だち追加をしていただくと
中央工学校の最新情報が配信されます。



【公式Instagram】

授業の様子をご覧いただけます。
興味のある方はQRコードから！

オフィシャルHPに
アクセスできます。

資料請求や体験入学・
学校説明会の申込み可能



〒114-8543 東京都北区王子本町一丁目26-17
TEL:03-3905-1511
Mail:info@chuoko.ac.jp
PC:https://chuoko.ac.jp



イラスト・マンガ制作、写真・動画編集まで 幅広く利用できる液晶ペンタブレット

デジタル制作の可能性を試してみたいと思うなら、
Wacom Oneがぴったり。
資料への書き込みからアート作品の作成まで、
デジタル制作を始めたい方におすすめのエントリーモデルです。

株式会社ワコム www.wacom.com
〒160-6131 東京都新宿区西新宿8丁目17番1号住友不動産新宿グランドタワー31階
電話でのお問い合わせ／資料請求 0120-056-814
受付時間 9:00~12:00/13:00~18:00 (土日祝日、および年末年始など弊社指定休日を除く)

お問合わせは
こちら

ワコムクリエイターズカレッジクラブ

Wacom Creators College Club

WCCC 加盟校募集中！

ワコムクリエイターズカレッジクラブ(WCCC)は、
クリエイティブな領域の指導を行う大学・専門学校
スクール・高等学校および学生・教職員の方々に
対象とした特別なプログラムです。

3つの WCCC 加盟校特典

※各サービスのご提供には諸条件がございます。

- 1 設備・教材の特別価格購入**
学校の設備や教材としてワコム製品を
特別価格で購入できます。
- 2 加盟校限定特別セミナー**
WCCC加盟校の皆様向けに、
業界で活躍されている現役クリエイターの
ライブペインティングや業界情報を中心とした
特別授業を開催しています。
- 3 製品の無料お貸出し**
加盟校による新入生の募集または
新講座開設等の際にセミナーセット
(1セット10台のワコム製品)を
無料でお貸出いたします。

WCCC
詳細はこちら